

液 化 室 だ よ り

東大物性研究所 <http://www.issp.u-tokyo.ac.jp/labs/cryogenic/>

【高圧ガス製造設備等の設置について】

年に数回、お問い合わせをいただきますが、下記のような行為等を行う実験装置等は、高圧ガスの製造(高圧ガス製造設備)となります。

【高圧ガスの製造となる行為(一部)】

- 1) ガスを圧縮して高圧ガスにする。
- 2) 高圧ガスを減圧等により圧力の低い高圧ガスにする。
例) 圧力調整器の出口圧力が1MPa以上で使用する。
- 3) ガスを液化する。

※高圧ガスについては、柏キャンパス指定の講習会資料を参照。

高圧ガス製造設備や冷凍機(以下、製造設備等)の設置には、事前に千葉県に許認可申請をする必要がありますので、研究室等で製造設備等の設置・移設等を考えている場合には、事前に低温液化室にご相談下さい。



また、柏キャンパス(柏IIキャンパス、柏の葉駅前キャンパスを除く)は、キャンパス全体が第1種製造所となっているので、製造設備等を所有する研究室は、研究室毎(もしくは製造設備等毎)に保安係員及び同代理者等を選任する必要があります。

※保安係員等の選任には、高圧ガス製造保安責任者免状と6ヶ月以上の実務経験が必要となります。免状については、高圧ガス保安協会のページを参照。

https://www.khk.or.jp/qualification/national_qualification/index.html

【高圧ガスボンベ等の管理について】

東京大学では、原則として高圧ガスボンベのデータ管理をUTCIMSで行っていますが、柏キャンパス(柏IIキャンパス、柏の葉駅前キャンパスを除く、以下柏キャンパス)では、独自の「柏キャンパス高圧ガスボンベ管理システム」を使っています。

※独自のシステム

→ <http://www.issp.u-tokyo.ac.jp/cryogenic/cylinder/>

柏キャンパスでは、ボンベの購入や返却等は、原則として物性研究所低温液化室を通して行うことになっていますが、柏IIキャンパスや柏の葉駅前キャンパスでは、研究室が直接、業者とやりとりすることになります。また、ボンベ等の管理(データ管理含む)等は研究室が、UTCIMSを使って行うこととなりますので注意して下さい。

※柏キャンパスホーム → <http://www.kashiwa.u-tokyo.ac.jp/>

柏キャンパス案内図 → <http://www.kashiwa.u-tokyo.ac.jp/tpp40.html>

